

第十四回 よのめち俳句まつり

入選作品一覧

(選者) 鷹羽狩行 (公益社団法人俳人協会名誉会長)

(兼題) 一般の部…春季雑詠、小中学校の部…自由

(掲出期間) 令和二年三月十四日(土) ～ 四月十二日(日)

千光寺公園

主催／一般社団法人尾道観光協会 共催／尾道商工会議所

【一般の部】（投句数一―二句）

おのみち俳句大賞

いちまいの空一本の山ざくら

東京都国立市

新保 徳泰

金賞

空仰ぐ枝垂桜の傘に入り

広島県尾道市

杉原 美穂子

銀賞

戦なき国のさくらを見てをりぬ

岡山県津山市

岡田 邦男

感嘆の声あぐるたび花吹雪

大阪府吹田市

矢吹 あさゑ

銅賞

枝うつりして轉に加はりぬ

神奈川県小田原市

池田 忠山

ひと揺れで乱れ正して糸桜

埼玉県深谷市

武井 猛

天上に楽奏づるや花吹雪

広島県尾道市

高卯 石男

尾道市長賞

どの坂も花の山へと誘ひて

広島県尾道市

松井 多嘉子

尾道商工会議所会頭賞

花守のつもりか寝ずの仁王像

広島県尾道市

宮永 直美

尾道観光協会会長賞

春日傘傾げ坂道ゆづり合ふ

兵庫県神戸市

池田 雅かず

入 選 【一般の部・名前順】

【あゝお】

廢校の庭に桜の咲き誇る
 尾道に帆布織る音春めきぬ
 田打機のいつせいに出る棚田かな
 梵鐘の余韻ただよふ夕桜
 春めきて水底の鯉落ちつかず
 登校の列も乱れて花吹雪
 三角の矢狭間や花の追手門
 階段を昇れば花の雲の中
 桜薬ふる土の上みづの上
 春の星鈴振るごとく瞬きぬ
 舞ひ上がりさうなわが身や花吹雪
 見下ろすも仰ぐも花の千光寺
 鐘楼の桜吹雪に打たれけり
 春の星船は全灯もて応へ
 ひとひらの又加はりて花筏
 花籠のごとく浮びて春の島
 花冷や旅の鞆に一封書

島根県 芦矢 敦子
 徳島県 飯田 醉亥
 広島県 石田 楓軒
 広島県 石田 博子
 広島県 石津 裕美
 広島県 石原 研
 静岡県 伊藤 孝一
 東京都 伊藤 三郎
 東京都 伊藤 妙
 山形県 猪俣 洋子
 鳥取県 岩水 節子
 岡山県 植田 桂之
 広島県 宇根本 時男
 埼玉県 梅田 ひろし
 広島県 大住元 法子
 東京都 大西 まりゑ
 広島県 岡田 真利子

飛花落花海へ渡船へあの島へ
 八重桜夜勤帰りをつつみけり
 引き潮に逆らつてゐる花筏
 ゆつたりと坂登り来る花衣
 春光をまとふ三山絵巻めく
 散る桜夕日に映ゆる瀬戸の海
 帰りには回り道して夕ざくら
 桜咲き人人の千光寺
 潮の香の馭のホームに初燕
 鶯のこゑの重なる島の朝
 抱く嬰の欠伸をもらひ花の昼
 登城めき天守閣へと花吹雪
 装はず謀らず矯めず猫の恋
 雲水の衣なびかせ桜まじ
 一斉に花散る里の時の鐘
 若桜海に腕を突き出して

【きゝそ】

夜桜やいく筋もある帰り道
 海光を鎧ひて花の千光寺
 春眠の会ひたき人にあはずさめ
 ゴンドラの下には瀬戸の春の潮

広島県 巫 依子
 滋賀県 葛城 巖
 福岡県 川口 茂則
 広島県 川畑 薫
 広島県 北川 和代
 広島県 木津川 和人
 東京都 草野 准子
 広島県 久保 紘子
 広島県 熊丸 幸代
 広島県 郷坪 敏幸
 広島県 光籬 弥生
 広島県 廣本 貢一
 山形県 小島 緑泉
 広島県 後藤 久
 広島県 後藤 弘子
 広島県 後藤 良雄
 大阪府 斎藤 詳次
 広島県 榊原 素女
 東京都 佐々木 巴里
 埼玉県 笹野 青陽

【かゝこ】

花の下ぼんぼり灯るまでひとひ

広島県 重松 早由未

ひとひらがひとひらさそふ桜かな

神奈川県 嶋村 博吉

車座の中に赤ん坊花の昼

大阪府 将口 和子

容赦なく弁当に茶に花吹雪

兵庫県 荘野 エイ子

降りそいで降らぬいちにち花万朶

山口県 白神 陽子

気まぐれな風に散らされ花筵

広島県 新宅 涼枝

立春の渚や波の横走り

千葉県 菅谷 貞夫

迷ひ子の涙を散らす花ふぶき

和歌山県 鈴木 憲一

初蝶や風の吹く日は風となり

埼玉県 関口 幹雄

【たくと】

バスを待つ一直線の花堤

広島県 峠 則数

花人に埋まりさうな千光寺

広島県 高田 富美

雨粒に枝垂れ深めて糸桜

埼玉県 高橋 裕子

海彦も山彦も来よ花の宴

埼玉県 田口 紅子

筆太の合格絵馬や梅ひらく

東京都 竹中 義信

たんぽぽのわた行く先を決めぬ旅

茨城県 舘 健一郎

青空の見え隠れして花の雲

岡山県 田辺 史子

散るために満開となる桜かな

広島県 田村 祐巳子

風の意に添ひ川上へ花筏

広島県 土屋 康治

喝采に包まるるさま花吹雪

広島県 歳谷 美智子

令和には令和の桜千光寺

広島県 友宗 誠

【なくの】

島島を描く手元に花吹雪

広島県 名賀 孝恵

花散らし園児をちらす俄雨

神奈川県 長瀬 遊頭

千光寺埋みのこして花の雲

広島県 永原 常子

しののめの眼下の桜独り占め

岡山県 中山 幸子

方言がとりもつ円座花の下

広島県 西川 美恵子

天帝の吐息のごとし花の雲

滋賀県 西山 敦

上りては花ふり返り坂の町

兵庫県 西山 啓子

坂多き町の小部屋に飾り雛

静岡県 二藤 覺

咲き満ちてさ揺らぎもなき桜かな

大阪府 中郷 秀志

【はくほ】

長閑さや一笛鳴らす島渡船

広島県 箱田 富久恵

紅白の幕ふくらませ桜東風

神奈川県 陌間 みどり

出航の船に乗りこむ花吹雪

東京都 橋本 世紀男

一木の一枝の一花初桜

東京都 長谷川 瞳

二歳児も泣きやむほどの花ふぶき

広島県 秦 佳奈

奥の間の雛がちらりと釣具店

岡山県 原田 慶子

竜宮の使者かも知れず桜鯛

広島県 平井 清香

大鯉の尾鰭で叩く春の水

栃木県 平野 暢行

入相や花の中より鐘の音

広島県 福場 朋子

雑談の弾む屋台や春灯

足もとに猫の寄り来る花の山

仰がるる高さおのづと初桜

返事した子猫が先に貫はれる

ゴンドラは花の揺籃空真青

坂行けば芙美子に出会ひそな春

春や春石も仏や千光寺

ぼんぼりの灯のやはらかき花の宴

【まくも】

どの路地の行きも帰りも花吹雪

鐘の音に海がふくらむ花吹雪

花ふぶき一呼吸おき花吹雪

移民碑に風のやはらか系桜

卒業や渡船でわたる父母の島

繋がれし舟にも桜吹雪かな

四方の景しばし隠して花吹雪

花冷えや透かし模様 of 畳紙

神の池犇き合ひて花筏

師の句碑の馨し花の千光寺

囀のふたたび戻る雨上がり

花屑の道をくぐりて千光寺

愛媛県 藤井 隆嗣

広島県 藤井 博子

広島県 藤田 かよ子

神奈川県 藤田 ミチ子

北海道 藤林 正則

広島県 星加 鷹彦

兵庫県 保理江 順子

奈良県 堀ノ内 和夫

広島県 松浦 ヒトミ

広島県 松本 壽賀子

広島県 三島 敏恵

東京都 三村 清子

神奈川県 宮崎 清美

広島県 宮崎 玲子

広島県 宮地 タマコ

広島県 村上 春美

広島県 村越 正和

愛媛県 村重 香霞

熊本県 森 静子

広島県 盛谷 慧子

【やくよ】

川筋の曲がればまがる花の道

満開の花のきのふとちがふいろ

堂塔の屋根反りなりに飛花落花

王朝の風を誘ひて花の寺

岡山県 山県 章宏

三重県 山田 良一

福島県 湯田 畷道

広島県 吉原 鹿

【わ】

乳母車下りて歩く子日脚伸ぶ

潮の香の吹き抜ける宿桜鯛

広島県 若本 繁子

広島県 若本 鴻遊

【小中学校の部】（投句数一六四七句）

特選

しゃぼん玉生まれはきつと虹の国
三つ星が気を付けしてるオリオン座
手伝いに急いで帰る秋夕焼

尾道市立吉和小学校 三年 児玉 琉莉
尾道市立土堂小学校 四年 麻生 明日香
南九州市立大丸小学校 五年 末永 麗桜

入選

かまきりとVサインでにらめっこ
もみじおちかわにながれる船みたい
ミニトマトへんしんしてねまつかにね
風車くるくる回る目も回る
かきごおりゆだんをするとジュースかな
ストーブが音を鳴らしておこってる
春一番わたしのせなかをおしている
熱熱のフライパン夏の砂
かぶと虫角が天空指している
ツバメさん今年もわが家に里帰り
春にふむいつもとちがう第一歩
赤とんぼ夕やけ空をパトロール
空の青入道雲に飲まれそう
春の池花びら落ちて時止まる
雪道に最初の足あとつけてゆく
ひまわりに虫たち集まり会議中
春の雲のんびり進む遊覧船

尾道市立西藤小学校 一年 赤瀬 結人
尾道市立西藤小学校 二年 高橋 梨穂子
尾道市立御調中央小学校 二年 泉谷 海音
尾道市立土堂小学校 三年 小口 絹子
福山市立広瀬小学校 三年 松井 風磨
南九州市立大丸小学校 三年 末永 央晟
尾道市立長江小学校 四年 平田 寧々
尾道市立吉和小学校 四年 清水 緋菜子
尾道市立吉和小学校 四年 神森 夏芽
尾道市立西藤小学校 五年 福村 美咲
尾道市立向東小学校 五年 平田 想夏
尾道市立御調中央小学校 五年 坂東 真志
柏崎市立半田小学校 五年 中村 凜桜
尾道市立長江小学校 六年 平川 祐成
尾道市立向島中央小学校 六年 石川 志信
福山市立広瀬小学校 六年 延明 圭太
福山市立広瀬中学校 三年 森本 夢叶

学校賞

尾道市立吉和小学校
尾道市立西藤小学校